

泊村老人ホームむつみ荘広報

# アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202

古宇郡泊村大字茅沼村711番地3  
社会福祉法人 黒松内つくし園  
泊村老人ホーム むつみ荘  
TEL (0135) 65-2255

発行責任者 施設長 高橋 英俊  
編集発行 むつみ荘広報委員会

## 面会等についてのお知らせ

2024年10月15日(火)より、面会が緩和されました。内容については以下の通りとなっています。何かとご不便をおかけ致しますがご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

面会範囲 御家族、親族、友人、地域住民等

面会方法 事前予約制(※感染症予防対策の為)

面会時間帯 8:30~20:30 ※面会の時間や頻度についての制限はありません。

- その他
- ① 御家族様の意向により、面会制限をさせて頂く場合があります。
  - ② 感染症予防の為、マスクの着用・検温・体調確認等をさせて頂きます。
  - ③ 受付でのみ、直接利用者様へ荷物の受け渡しが可能となっています。

## 新そば打ち

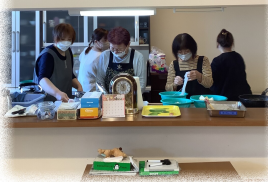
11月8日、給食委託会社LEOC様の御厚意による、新そばを使ったそば打ち行事が行われました。そば打ちの実演では、解説を交えながら手際よく進み、利用者は真剣な表情で見入っていました。実演後は、打ちたてのそば、茶碗蒸し天ぷらが出され、天ぷらそばや、ざるそばなど自分の好きな食べ方で食べられていました。「そば打ち初めて見たわ! すごかったね」「打ちたてのそばは、やっぱりおいしいね」と大変喜ばれていました。旬な食材を使った行事を、季節毎に今後も行っていきたいです。



# にこやか・ほんわか ユニット家族会



10月26日、にこやか・ほんわかユニットでは、約4年ぶりに家族会を開催しました。ご家族にも準備を手伝っていただき、ザンギ・フライドポテト・きのこご飯・具だくさん鍋を作りました。参加された御家族からは「久しぶりに母と一緒にご飯が食べられて嬉しい」「鍋をみんなで囲んで楽しかった」と、喜んでいただけました。利用者も、数年ぶりに御家族と一緒にご飯を食べて嬉しそうにされていました。またこのような行事を開催したいなと思いました。



## 原子力防災訓練

10月31日、北海道原子力防災訓練が行われ、むつみ荘も利用者と職員が参加し、避難先の黒松内町へバスとむつみ荘の車輛に乗り移動しました。避難先の同法人湯の里・黒松内では、到着後に体調チェックなど終えて訓練終了となりました。久しぶりの長旅に少々お疲れのようでしたが、「ちゃんと訓練しておかないとね」と話されていました。



## 入居状況



【特養】

2024.11.25

【養護】

2024.11.25

市町村	入居	市町村	入居
泊村	21名	平取町	1名
岩内町	15名	黒松内町	1名
共和町	11名	伊達市	1名
寿都町	1名	小樽市	1名
余市町	4名		
		合計	56名
ショート	0名		
合計	0名	※入居定員数60名	

市町村	入居	短期
泊村	24名	9名
共和町	4名	
余市町	1名	
札幌市	1名	
合計	30名	9名

入居定員数30名、短期10名



むつみ荘では、入居等に関するご相談を随時受け付けております。入居に関するご質問・ご相談は、養護・特養共に【生活相談員】までお気軽にお問い合わせください。



## 施設長雑感

先日、泊村にも初雪が観測されました。札幌においては、この時期の風物詩でありますホワイトイルミネーションが始まり、巷では植樹の雪囲いや車のタイヤ交換など、本格的な冬の到来に備えた準備をすることが必要な時期となりました。さて、本施設では、冬期間における感染症の予防のため、先月はインフルエンザワクチンの接種を行い、さらに今月はコロナワクチンの接種を予定しております。また、冬場に発生が多発するノロウイルス感染症の予防のため、吐瀉物の処理に係る実地研修を実施し、緊急時における対応につい

て、万全の準備を進めることとしております。終わりに、2024年も終わりが近くなり、本施設では、クリスマスや年末年始にかけて、様々な行事の開催が見込まれております。利用者様が、お元気で健やかに新年をお迎えできますよう、職員一同、邁進してまいりたいと存じます。ご家族・関係者の皆様におかれましては、今後とも積極的な面会並びに本施設へのご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

施設長  
高橋 英俊

